

国際交流つうしん



P.2 多文化子育てサロン



P.3 まちで見つける世界の扉（ムムターズレストラン）

目次

- P.2 多文化子育てサロン
P.3 まちで見つける世界の扉～白井市編～ ムムターズレストラン
P.4～6 事業報告（令和7年7月～10月） 今後の行事予定
P.7 JICA千葉デスクのページ
P.8 千葉県から世界へ！ ～キルギス共和国～

広告

「日本語を教える」としたら

スリーエーネットワーク

好評発売中



スリーエーネットワーク 編著
2,750円（税込）B5判

遂に「第3版」発行!!
**みんなの日本語
初級I 第3版本冊**

改訂のポイント

- ・会話場面、語彙・表現の見直しを行いました。
- ・CDを無くし、音声はウェブサイト・音声アプリで無料配信中。

「第3版」最新情報・変更点等はこちらから

最新刊や教材紹介動画の情報等は <https://www.3anet.co.jp/>



広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は
**出入国在留管理局への出頭が
免除**されるので、**仕事や学業に
専念**することが可能です。

お問い合わせは…



千葉県行政書士会

www.chiba-gyosei.or.jp/



〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号



多文化子育てサロン

出産・育児期は、うれしいこともたくさんありますが、不安や悩みを感じることも多いものです。特に外国から来た保護者にとって、言葉や文化の違いは大きなハードルになることもあります。

千葉県国際交流センターでは、そんな保護者の方々が安心して地域で子育てできるよう、外国人と日本人の親子が一緒に集い、交流しながら子育てについて学ぶ「多文化子育てサロン」を行っています。

今回は、印西市と千葉市で開催したサロンのにぎやかで温かな様子をご紹介します！

印西市

タイのリラックスヨガ ルーシーダットン

9/19

妊婦さんや子育て中のママたちがリラックスできるタイのヨガで身体をほぐしながら交流しました。様々な国の方が参加してくださり、みなさん終了後には新たな“ママ友”とおしゃべりを楽しんでいた！



日頃のコリをほぐします

ネパール式 ベビーマッサージ

9/26

ネパール出身のザヤさんのインストラクションで、ベビーマッサージをしました！赤ちゃんたちはとても気持ちよさそうでした。参加した先輩ママやザヤさんから子育てのアドバイスをもらうなど、国籍に関係なく子育ての悩みを共有し教え合う姿が印象的でした！



赤ちゃんたちもリラックス

千葉市

日本の離乳食を作ってみよう！ 外国の離乳食について知ろう

10/9

ベトナムや中国出身のママたちと日本人のママたちが集まり、みんなで日本の離乳食を食べ比べたり、ネパール式の少しスパイスの効いた甘いお粥を味見したりして離乳食について学びました！なかなか離乳食が進まない、スプーンはいつ頃から自分で持てる？など万国共通の悩みを共有し、講師のMother's Tree Japanの坪野谷さんや他のママたちのアドバイスなどに真剣に耳を傾けていました。



赤ちゃんたちも楽しんでくれました！



スパイスでお粥に香りづけ

今後の予定

11/11 (火)

「赤ちゃんがかかりやすい風邪とその対処について知ろう」

12/6 (土)

「赤ちゃんと言語で遊ぼう」

1/10 (土)

「妊婦さん・赤ちゃん連れの防災」

会場：高洲・子育てリラックス館



⇐お申込みはこちらから

外国人母子への多言語サポート団体のご紹介

多文化子育てサロンの運営に協力していただいているNPO法人 Mother's Tree Japan では、外国人ママからのLINE相談に多言語で応じています。また、保健センターや病院、保育園などで通訳（場所により付き添いまたはオンライン通訳）をするサービス、オンラインの日本語教室や母親教室、助産師や保健師とのコミュニケーションに役立つ多言語ツール等も無料で提供しています。ぜひHPをご覧ください！

Mother's Tree Japan
ホームページ



まちで 見つける 世界の扉

～白井市編～

ムムターズレストラン

千葉県は全国的にみてイスラム圏出身の外国人が多く住んでいます。白井市にある「ムムターズレストラン」ではハラル料理の提供に加えて、モスクやハラル食材店が隣接していることもあり、市内外から多くのムスリムの方々が訪れています。そのおいしさからグルメサイト「食べログ」で「エスニックレストラン『EAST』百名店」に2022年から3年連続で選ばれたこちらのお店を今回は取材しました。

オーナーのバットさんにインタビュー



お店の外観

私は白井市で自動車関係の仕事をしています。以前からこの辺りにはハラル料理のレストランがありましたが、日本の食材で本場の味の再現は難しく、経営が下火になっていました。そこで、前経営者が店を手放す2021年に店舗を譲り受けることにしました。私はこの店を、母親の名を冠して「ムムターズレストラン」と名付け、店名のとおり母親の味、つまり故郷を感じることができる本格的な店になれるよう、味の改良に力を注ぎました。

おかげさまで外国人のお客様だけでなく、日本人客も県内外から大勢来店いただいています。平日のランチは日本人の方が多くいます。家族連れも多く来店してくれるので、子ども向けのメニューも提供したいと考えています。



オーナーのバット シャハザードさん

今回いただいたメニュー

ビーフニハリ(カレー) ①左上

スプーンでホロホロに解れるビーフの塊肉が入った、スパイシーかつ塩味が絶妙なカレー。フレッシュな青唐辛子がアクセントになります。

マトンビリヤニ ①左下

カルダモンやクローブなどのホール(粒)スパイスがふんだんに使われており、一口ごとにスパイスの調和した香りと辛み、骨付き肉の旨味を感じます。

※ビリヤニ…メインとなる肉と、玉ねぎやスパイスなどを炒めて作るグレイビーソースに、スパイスを加えて炊いた米を重ねて蒸し焼きにする料理です。

チキンマサラ(カレー) ①右下

お肉がたっぷり入った、まろやかなカレー。こちらもお肉がホロホロで、しっかり旨味を感じます。

(写真①は表紙にも掲載)



②アラビックロール

おしゃれなカフェで提供されるようなラップサンド。中にはチキンケバブと野菜、チーズなどの具材がたっぷり入っています。これだけでお腹が満たされる、ボリューム満点の一品です。ファーストフードに慣れた子どもたちにも大人気です。

ムムターズレストラン

(Mumtaz Restaurant)

11:00~23:00

無休 駐車場有

白井市河原228-20

(白井駅から3.4km)

☎ 047-404-1230

◆メニューは日替わりとなっています

編集メモ

ムムターズレストランの隣には「SHIROI MOSQUE (白井モスク)」があります。取材をした金曜日は特別なお祈りの日で、各国のムスリムの方たちが大勢集ってました。お祈りが終わると皆さん一斉にムムターズで食事します。同じ宗教という共通点で互いに助け合う姿が印象的でした。

取材を受けてくださったムムターズレストランのみなさん、ありがとうございました。



お祈りの様子
(白井モスク)

あなたの町にあるおススメの、いろいろな国のレストランを教えてください！国際交流つうしん編集部 (E-mail: ied@ccb.or.jp)

◆国際協力パネル展@そごう千葉店（7/1～7）

千葉県ユニセフ協会、千葉県、JICA東京と共催で、国際協力パネル展を開催しました。千葉県国際交流センターの活動紹介パネルのほか、各種行事の様子や国際交流ボランティアの活動の写真を展示し、多くの県民の方にご覧いただきました。



国際協力パネル展

◆入管職員研修（7/10）

毎年、東京出入国在留管理局の講師派遣制度を利用し、センター職員は入管職員から在留資格に関する研修を受けています。今年度は初めて、市町村担当課、市町村国際交流協会より22名の希望者がオンラインで参加するハイブリッド形式で開催しました。「在留資格等に関する基礎講座」と題し、①入管法の基礎知識、②高校卒業後等に就労を希望する外国人の在留資格、③育成就労制度、④相談事例ケーススタディといった多岐にわたる内容が取り上げられ、大変有意義な学びの機会となりました。

～災害時外国人支援への取り組み～

◆災害時多言語支援センター設置運営訓練（8/19）

当センターでは、大規模災害時に「災害時多言語支援センター」を県と連携して設置・運営することとしており、外国人へ必要な情報を多言語で発信しているほか、外国人相談にも対応しています。災害時の対応力の確認と、関係機関との協力関係を構築するための訓練を、県および市町村と協力して行いました。



災害時を想定した対応の様子

◆災害時外国人支援ボランティア養成講座@富里市（10/4）

千葉県・富里市・富里市国際交流協会と共催で、災害時に外国人支援を担うボランティアを養成する講座を実施しました。外国人ならではの災害時のお困りごとの事例や、「やさしい日本語」についての講義のほか、避難所を想定した巡回訓練では、日本語が全く話せない外国人被災者に対し、得意な言語や、やさしい日本語だけでなく、翻訳アプリを使用して意思疎通をはかる訓練も行いました。

◆災害時外国人学生インフルエンサー養成講座@神田外語大学（10/15）【千葉県主催事業】

10月に締結された千葉県と神田外語大学との協定に基づき、神田外語大学において、主に留学生の方々を対象として、千葉県と設置する「災害時多言語支援センター」が行う災害時の多言語情報発信に、「災害時外国人学生インフルエンサー」として協力していただくための講座を開催しました。

地震や風水害を知らない外国人に対して、災害が起きたときの注意点・行動についてのより効果的な情報発信体制につながる事が期待されます。



学生ができる情報発信について学びました

◆チーバくんグローバルパートナーズ意見交換会（8/20）【千葉県主催事業】

千葉県では、外国人と日本人が共に千葉の地域づくりを進める取り組みとして本事業を実施し、外国人住民の視点を県施策に活かしたり、災害時などの多言語での情報発信に協力いただいたりしています。

今回は、外国人向けの情報発信と日本語教育支援をテーマに意見交換を行いました。各国で使われるSNSは多様で、既存の外国人コミュニティや動画配信を活用した情報発信や、やさしい日本語と英語の併記が効果的、といった意見を多数いただきました。日本語教育では、教材だけでなく生活や交流の中で学ぶ機会が重要で、対象者に応じた内容や目的別クラス分け、事前相談の場の必要性などが挙げられました。

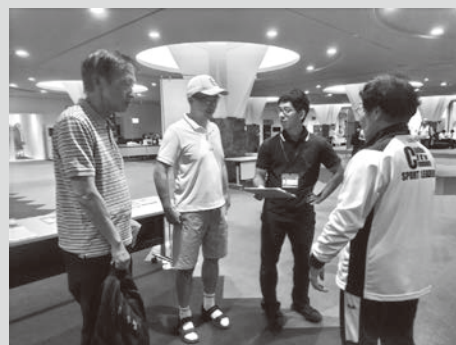
◆日本語学習支援者フォローアップ講座（9/22・24）

「生活者編」と「子ども編」の2つのテーマで、日本語学習支援者を対象に開催する講座です。「生活者編」では、(株)きぼう国際外語学院の栗又由利子先生より、技能実習生の来日後の生活や仕事スムーズに進み、彼らの人生を豊かにすることを踏まえた支援のかたちについてお話しいただきました。また、「子ども編」では、神奈川県立相模向陽館高等学校教諭の佐屋麻利子先生より、日本語支援が必要な高校生を対象に、彼らの将来の社会参画を意識しつつ、心や知識の成長に不可欠な言葉（日本語）の発達を促す支援についてお話しいただきました。

～ボランティア活動報告～

◆ISBD2025（第27回国際双極性症会議）（9/17～19）

当財団MICE事業部が誘致・支援をしている国際双極性症学会（ISBD）の年次総会が幕張メッセで開催されました。会期中、会議場入口のロビーでは、参加者向けに、千葉の竹を使ってラッキーチャームを作る竹細工や、ラジオ体操指導士とラジオ体操の動きを体験するなどの国際交流ワークショップが設置され、当センターの語学ボランティア5名の方が英語通訳として活動しました。



ラジオ体操体験について打合せ中

◆ISNI2025（第17回国際神経免疫学会）（10/5～9）

当財団MICE事業部が誘致・支援をしている国際神経免疫学会（ISNI）が幕張メッセで開催され、当センターの語学ボランティア4名の方に、会場内の特設デスクで、英語で観光案内をしていただきました。

◆国際交流・協力等ネットワーク会議（10/30）

千葉県と共催で、市町村・国際交流協会・民間団体を対象とした会議を開催しました。第一部では、川口市の芝園団地（外国人住民が半数以上）の自治会元事務局長・岡崎広樹氏を講師にお招きし、ゴミ出しや騒音などの生活トラブルへの対応について、具体例を交えてお話しいただきました。第二部では、災害時の外国人支援など、関心のあるテーマごとに分かれて意見交換会を実施しました。参加者からは、「他の地域や団体の事例を聞いて有意義だった」、「外国人ゲストと直接話せてよかった」などの声が寄せられました。



意見交換会の様子

千葉県国際交流センター 事業報告（令和7年7月～10月）

◆ちば多文化みらい共創講座

千葉県国際交流センターでは、在住外国人と小中学生との交流を通じて多文化共生について学ぶ授業を令和2年度より（一財）自治体国際化協会の助成金を活用して実施しています。

@千葉市立畑小学校（7/16）

オーストラリア、台湾、スウェーデン、ミャンマー、フィリピン出身の5名の講師たちが、6年生の子どもたちに出身国の紹介をしたほか、外国のゲームをしたり、クイズをしたりして交流しました。子どもたちからは、「日本との違いや文化、習慣について理解することができた」、「外国の人との関わりが楽しかった」などの感想が寄せられました。



オーストラリアの地理を学ぶ様子

@船橋市立船橋小学校（9/30）

スウェーデンとベトナムの講師が、5年生に講演を行いました。国旗の意味や歴史、美しい風景やおいしいそうな料理に、皆さん興味津々。それぞれの国の学校紹介では、日本との違いにどよめきが上がり、質問もたくさん飛び交いました。講師たちも、児童のみなさんの熱心さや好奇心に感心しきりでした。この日の出会いと交流が学びを広げたこと、そして未来につながっていることの手ごたえを、大いに感じられた一日でした。



スウェーデン語でのじゃんけん勝ち抜き大会

その他の開催はコチラ

7/14・16	市川市立宮田小学校	パキスタン・中国	9/19	柏市立柏第二中学校	アメリカ・ウクライナ・オーストラリア・ベトナム・ペルー・台湾
7/15	千葉市立緑町小学校	オーストラリア・スウェーデン・ベトナム・台湾	9/24	千葉市立天戸中学校	アメリカ・カナダ・スウェーデン
7/16	千葉市立畑小学校	オーストラリア・スウェーデン・フィリピン・ミャンマー・台湾	9/30	船橋市立船橋小学校	スウェーデン・ベトナム
7/30	千葉県千葉リハビリテーションセンター	オーストラリア	10/2	船橋市立市場小学校	ウクライナ・ネパール・パキスタン・フィリピン
7/30	千葉県こども病院	オーストラリア	10/27	東金市立福岡小学校	ウクライナ・スリランカ・中国
8/21	流山市市野谷小学校区学童クラブ	ベトナム	10/27	佐倉市立志津中学校	スウェーデン
9/11	船橋市立市場小学校	ウクライナ・ネパール・パキスタン・フィリピン	10/28	市原市立ちはら台南中学校	アメリカ・スリランカ・パキスタン・ミャンマー・台湾・中国
9/12	香取市立東大戸小学校	アメリカ・ペルー			

今後の行事予定

事業	内容	時期(予定)
ちば多文化みらい共創講座	外国人講師による出身国の紹介と、交流等を中心としたクラス授業の実施	随時
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座（成田市、富里市）	10・11月
日本語学習支援者と文化理解を学ぶ講座	初心者を対象に必要な基礎的な知識や素養を養うための講座	11月
はじめてのにほんご in ちば	日本語をはじめて学ぶ外国人のためのオンライン日本語教室	11～1月
多文化子育てサロン	外国人と日本人の親子のための交流サロン	12・1月
国際理解セミナー	県民に広く、国際理解を図る講座	12・2月
千葉県地域日本語教育フォーラム	県民を対象に地域日本語教育の理解を深めるための講演、参加者間の交流・意見交換	1月
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演・情報交換	1・2月

こんなところに日本の電車が!?～バングラデシュに行ってきました～

JICAの「教師海外研修」を通して、子どもたちに途上国のリアルを伝えたいという熱い気持ちを持つ先生方とバングラデシュに行ってきました！

人口約1億7,200万人、首都ダッカには2,000万人が暮らす南アジアの国、バングラデシュ。今回、JICA東京が実施する教師海外研修に千葉デスクとして同行し、この国を訪れました。研修の目的は、参加する教員の方々に、開発途上国の現状や日本の国際協力について理解を深めてもらい、その学びを授業実践に活かして頂くこと。研修の視察先のひとつとして訪問したのが、JICAの協力により整備され、2022年12月に開業したバングラデシュ初の都市高速鉄道（メトロ）、ダッカメトロ6号線でした。

ダッカメトロ6号線は、ダッカの中心地を南北に結ぶ全長約21km、17駅的全線高架の路線で、全線が開通すれば、渋滞のため車で2時間以上かかっていた移動が約40分に短縮される見込みです。同路線は日本の鉄道技術やノウハウを活用する形で整備され、車両は日本の通勤電車をモデルにしています。改札システムにはSuicaやPASMOと同じ非接触ICカード技術が導入され、駅舎建設や信号等の主要機材の供給も日本企業が受注しています。



電車の中の様子を観察する研修生



ダッカ市内の交通渋滞

いよいよ駅に到着した私たちは、まず自動券売機でICカードを購入。タッチパネルの操作方法は日本とほぼ同じで、バングラデシュの人々もスムーズに利用している様子が印象的でした。改札を通ってホームに上がると、そこには見覚えのある車両が！銀色に輝く車体は、まさに日本の通勤電車そのもの。車内に入ると、優先席や女性専用車両の表示、点字ブロック、エレベーターなど、バリアフリーの設備が充実していることに気づきました。実際に乗車してみると、揺れも少なく静かで、日本の技術の高さを改めて実感しました。窓の外には高架から見えるダッカの街並み。多くの人々が行き交い、活気にあふれています。

研修中、大渋滞を日々目の当たりにしていた私たちは、急速な経済発展により深刻な交通渋滞や大気汚染に悩まされていたダッカで、このメトロは人々の暮らしを確実に変えているのだと実感しました。

今回の研修を通じて、日本の技術が遠く離れた国で人々の役に立ち、笑顔を生み出していることを実感しました。これは教室で教えるだけでは伝えきれない、国際協力の本当の意味を体感できた貴重な経験です。帰国した先生方は今まさに、この経験を子どもたちに伝え、日本が世界とつながり、貢献していることを一緒に考える授業を展開されています！

(参考：https://www.jica.go.jp/information/press/2022/20230117_32.html)

JICA東京 教師海外研修とは？

教員の方々が実際に開発途上国を訪問することにより、途上国が置かれている現状や国際協力の現場、途上国と日本との関係に対する理解を深め、帰国後は学校現場での授業実践等を通じて、児童生徒の教育に役立てていただくことを目的として実施しています。また、本研修修了後も、教育現場で開発教育・国際理解教育に取り組む中核人材として活躍いただくこともねらいとしています。現地での学びを授業に生かすため、海外研修の他に訪問前の事前研修・訪問後の事後研修に加え、年度末の実践報告会で授業の実践報告にご参加いただき、1年間を通じた深い学びを目指しています。

(参考：<https://www.jica.go.jp/domestic/tokyo/activities/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>)

JICA千葉デスクへのお問い合わせは以下までお願いいたします。

千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク 岡本 多永

TEL：043-297-0245 / 090-4024-0441

FAX：043-297-2753 E-mail：jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp





千葉県から世界へ!

キルギス共和国



※外務省ホームページより引用

今回は、JICA海外協力隊としてキルギス共和国に派遣中の星野聡子さん（君津市出身）からの寄稿です。遠い中央アジアの地で、キルギスの体育教育に取り組む星野さんが、現地での生活や活動について教えてくださいました。

中央アジアのスイス



任地のコチコル村 6月の風景

キルギス共和国は中央アジアに位置する内陸国で、中国、カザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタンと国境を接しています。国土は日本の半分ほどで、その約9割が山岳地帯です。天山山脈やイシク・クル湖など雄大な自然が広がり、「中央アジアのスイス」とも呼ばれています。首都はビシュケクで、国民の人口は千葉県より少し多い約730万人。多くの人が山あいの町や村で暮らし、家族や地域のつながりを大切にした生活を送っています。

気候は大陸性で、夏は日差しが強く乾燥し、冬は厳しい寒さになります。地域によって標高差が大きいため、季節の移り変わりも多様です。標高1600メートルを超える場所では夏でも朝晩は冷え込みます。

キルギスの産業と文化

主要な産業は農業と畜産です。羊や牛、馬を放牧し、羊毛や乳製品が輸出されています。特に羊毛から作られるフェルト製品「シルダック」や「ユルタ（移動



移動式住居のユルタ（キルギス語ではボウズィ）

式住居）」は、伝統文化を象徴するものです。また、金鉱の採掘も経済の柱の一つで、金や鉱物資源の輸出が重要な収入源になっています。

食文化は自然と密接に結びついており、肉料理が中心です。代表的な料理には、羊肉や牛肉を使った「ラグマン（手打ち麺）」「プロフ（炊き込みご飯）」「マントゥ（蒸し餃子）」などがあります。どれも素朴ながら力強い味わいで、来客時にはお茶とナン（平たいパン）を用意して温かくもてなします。



ボソラグマン（焼きラグマン）

現地での活動

私は体育教員として、キルギスの学校に配属されています。現地の先生と一緒に、発達段階に応じた運動指導や安全教育、ウォーミングアップの工夫などを行っています。設備や道具が限られていても、子どもたちはとても元気で意欲的です。体を動かす楽しさや、仲間と協力する大切さを伝えることを目標に、日々活動しています。

豊かな自然と人々の温かさに触れながら、異なる文化の中で学び合う日々は、多文化共生の意味を改めて考える貴重な経験になっています。



ノウルーズ（春分の日を祝うお祭りで、国民の祝日）



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンD棟14階
TEL: 043-297-0245 FAX: 043-297-2753 E-mail: ied@ccb.or.jp

<https://www.mcic.or.jp/> / [へgo!](#)

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)